

2019年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ダイオーズ
 代表者名 代表取締役社長 大久保 真 一
 (コード：4653、東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 稲 垣 賢 一
 (TEL. 03-3438-5511)

第2四半期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績値との差異

(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	百万円 17,726	百万円 593	百万円 526	百万円 347	円 銭 25.86
実績値 (B)	17,923	776	733	497	37.06
増減額 (B-A)	197	183	207	150	—
増減率 (%)	1.1	30.8	39.2	43.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2 四半期)	15,817	726	730	491	36.59

2. 業績予想との差異の理由

当社は、国内部門においては契約顧客件数が過去最高を更新するとともに、物流拠点見直しによる配送効率の上昇、デジタル化を通じたコスト削減策の遂行ならびに新規営業社員の生産性向上が、堅調な業績につながりました。他方米国部門においてはM&Aを中心とした新規市場への進出を行う一方、既存拠点では従来型OCS事業、高付加価値型プレミアムOCS事業ともに増益となりました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が期初予想を上回る結果となりました。

3. 今後の見通し

2020年3月期通期業績の見通しにつきましては、未確定要素も多いため2019年5月15日に公表しました予想値を据え置いております。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上